

QBとネット講座を効率よく活用するには

T大学 A.I.さん

ネット講座にはないもの

国試の2大対策と言えばQBとネット講座。どちらを優先し、どのように組み合わせればよいか、先輩に聞いても人それぞれでした。そこで、とりあえずネット講座に手を付けました。深く考えずに始めたネット講座でしたが、病態生理から診断、治療、予後と一連の流れに沿って説明するので、頭に入りやすかったです。しかし、講義の時間の都合上、全ての疾患を網羅することは不可能で、疾患の漏れが気になりました。講座数も多く、1.5倍速で講義を聞けるとはいえ、何度も止めてノートを取るの、一度見るだけでも6年生の夏までかかる見込みでした。また、問題の解説は浅く、それだけ読んで理解を深めることはできないので、問題だけ解き直しても為にならないと思えました。そこで、ネット講座の役割は主な疾患の知識の復習と割りきり、問題演習のためにQBを購入しました。

QBをどう活用するか

まず1周目問題だけを解くことにしました。1周目問題は主要な疾患はもちろん、稀な疾患まで国試に既出の疾患をほぼ全て網羅しているため、全問解ききる自信のない自分には十分強かったです。また、QBの魅力である豊富な解説を余すことなく活用したいと思ったため、解いていない問題の解説も太字のところだけは読むようにしていました。おかげで、単なる問題演習にとどまらずに医学知識の補強もすっかりできました。さらに問題で扱った疾患と似た紛らわしい疾患、不整脈薬や抗菌薬など煩雑になりがちな薬なども表で整理してあり、かゆい所にも手が届くものでした。

実際の私のQBの活用法は以下の通りです。

- ①1周目問題を解く。
- ②解説やMINIMUM ESSENCEを読み、大事なところに下線を引く。
- ③メッシュレボを読み、国試で問われやすいところを確認。
- ④間違えた問題を解き、下線の部分も読み直し、定着していないところはネット講座を見たときに作ったノートにまとめる。

最終的には国試の会場に持っていくのにふさわしい自分だけのノートができました。会場で何を復習すればいいかわからず無為に時間を過ごすということがなくよかったです。

ネット講座=Input、 QB=Output

ネット講座とQBを両方やってみて、それぞれ主眼の置き方が異なると感じました。ネット講座は主要疾患の知識を整理する、医学知識のinputに重きをおいた構成です。一方QBは問題演習をメインとし、問題を解く際に医学知識のoutputが求められます。ネット講座とQBどちらもやるのは非効率的ではと躊躇する気持ちもありましたが、実際は医学知識のinputとoutputが十分にできたことで、抜かりない国試対策となるに違いないと安心していきました。最後になりますが、私のように両方やらずとも、片方だけで合格できる方もいます。片方だけに絞りたい場合、上記を参考にそれぞれの特徴を比較して、どちらが自分に向くか考えてみてください。両方やる場合、国試に対して盤石な備えができると思います。

イヤートアプリならではの勉強法

東京女子医科大学 Mさん

実習中の使い勝手が抜群!

アプリを使った復習法

「イヤートアプリ(以下、YNアプリ)」をダウンロードしたのは、5年春の実習が始まる時。実習中にiPadを持っていれば、バツと疾患を調べられ、手持ちの荷物も少なくすむかなと思い、ダウンロードしました。実際、実習中の使い勝手は抜群でした。担当患者さんの疾患やカンファ、先生の質問をすぐに調べられるので、とても助かりました。5年生での勉強は、ネット講義や模試、試験の内容の復習を中心に、6年生に向けて復習しなくてはと考えていました。どうにか忙しい中、空き時間にバツと復習できないかと考えたとき、思いついたのが「YNアプリ」のマーカー機能でした。試験を受けて知らなかったこと、覚えておきたいことを「YNアプリ」の本文にマークをつけ、どの試験で問われた内容かも試験ごとに色分けしました。アプリ内の「ノートブック」で「マーカー」のタブを選択するだけでマーカーを引いた文を見られるので、数分の空き時間でも復習でき、便利でした。

「Evernote」との併用が◎

「Evernote」も勉強に欠かせない相棒でした。「YNアプリ」で図をスクリーンショットし、必要な部分だけを切り取って「Evernote」に貼り付けたり、授業・予備校や模試で学んだことを付け加えたりしてオリジナルノートを作っていました。「Evernote」と「YNアプリ」との相性は抜群で、スクリーンショットした文字も認識してくれたので、検索の手間を大きく省くことができました。

国試対策でも手元にアプリ

国試の本格的な勉強が始まる6年生でもアプリを活用しました。勉強していて、この疾患がわからないなあと思ったとき、

- ・「YNアプリ」で調べる。
- ・「AT」ボタンを押して付録の「ATLAS」の画像集で確認する。
- ・青字を押して、「QB」の関連問題もすぐに解くことができる。

「この問題は何ページだろう」といちいち探す手間が省けたので、面倒くさがるの自分にはとても便利でした。

勉強スタイルを作り、

みんなで国試を突破!

勉強のスタイルは皆さんばらばらで、「完璧」はありません。国試の勉強をしていると、「この方法で良いのか」と不安になってしまうのは自然なこと。そんなときは、ぜひ友達に相談してみてください。お互いの不安を相談し、情報交換をし合えば、1人じゃ見えてこなかったことも見えてくるはず。国試は団体戦です。みんなと合格を目指して、最後の最後まで走り抜けましょう!



ほかにも参考になる先輩方の体験記を掲載しています!
Webでcheck!